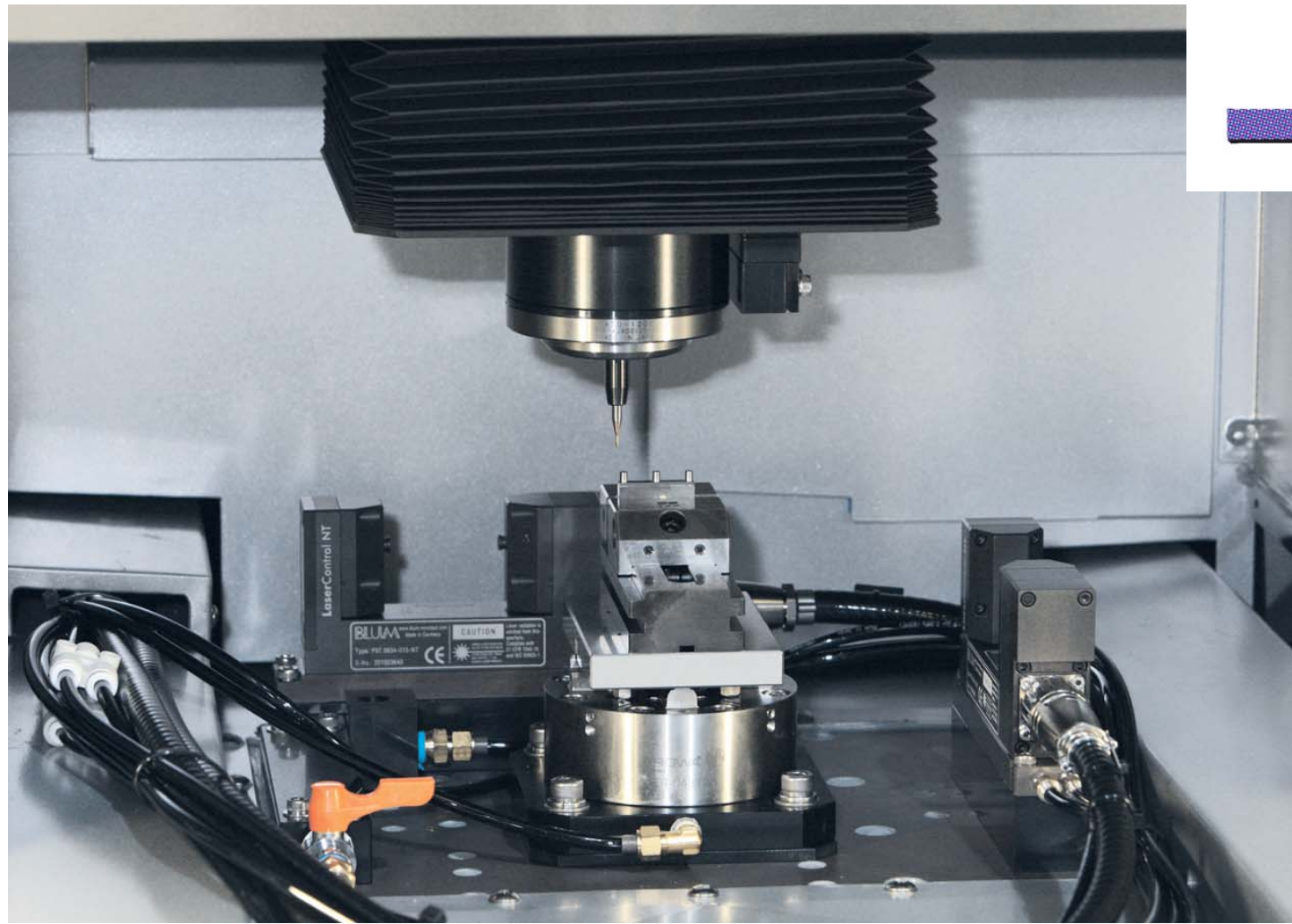


さらなる市場拡大目指して

工作機械産業



求められる高精度加工に
向けて技術開発が進む



日本工作機械工業会(日工会)がまとめた2011年(12月)の工作機械受注実績は前年比35・5%増の1兆3261億8000万円と2年連続で増加した。3年ぶりに1兆円の台を突破し、過去最高だった07年実績の83・4%の水準まで回復した。米ガルドナー・ハブリケーションズによると、11年の日本の切削型工作機械の生産額は163億1100万ドルで、中国の191億ドルに次ぐ世界第2位。世界シェアは24・2%だった。

受注をけん引したのは外需。日工会の調査で外需は前年比34・8%増の9045億8900万円となり、07年の8635億6700万円を抜き、過去最高を記録した。国別の首位は中国で、夏以降に金融引き締め策による停滞感が見られたものの、通年では同29・6%増の3278億2300万円に成長した。2位は米国で同50・9%増の1942億3700万円、3位はタイで、洪水の復旧需要を受けて同83・5%増の558億4400万円に伸びた。

一方、内需は同37・1%増の4215億9900万円に上昇したものの、直近のピークだった05年実績と比べると56・5%の水準にとどまる。日工会の横山元彦会長(ジェイテクト会長)は「内需の回復は依然緩慢。知恵を出して需要を創出していかねばならない」と指摘する。

12年の受注見通しについて、日工会は1兆2000億円に目標を設定した。欧州財政危機や円高の行方を注視しつつ、アジアを中心とした新興国市場の需要を取り込み、まずは月平均1000億円の受注確保を目指す。

外需比率は前年同様に7割前後で推移する見通し。最大市場の中国は懸念の金融引き締め策が緩和に向かい始めており、業界内では「年後半には設備需要が活発化する」との見方が出ている。12年は各国で首脳交代や選挙が相次ぐことから、景気浮揚策への期待も大きい。外需に比べて内需の足取りは重たいが、自動車関連の環境投資などが伸びている分野もあり、潜在需要の掘り起こしが課題となる。

欧州や新興国の工作機械メーカーとの競争が激化する中、11月の第26回日本国際工作機械見本市(JIMTOF2012)は日本の技術力を訴求する絶好の場となる。主催者の日工会によると、会場収容能力の上限を約2割上回る出展申し込みがあり、最新鋭の機械や技術が所狭しと並ぶ光景が今回も見られそうだ。

12年の受注見通しについて、日工会は1兆2000億円に目標を設定した。欧州財政危機や円高の行方を注視しつつ、アジアを中心とした新興国市場の需要を取り込み、まずは月平均1000億円の受注確保を目指す。

外需比率は前年同様に7割前後で推移する見通し。最大市場の中国は懸念の金融引き締め策が緩和に向かい始めており、業界内では「年後半には設備需要が活発化する」との見方が出ている。12年は各国で首脳交代や選挙が相次ぐことから、景気浮揚策への期待も大きい。外需に比べて内需の足取りは重たいが、自動車関連の環境投資などが伸びている分野もあり、潜在需要の掘り起こしが課題となる。

欧州や新興国の工作機械メーカーとの競争が激化する中、11月の第26回日本国際工作機械見本市(JIMTOF2012)は日本の技術力を訴求する絶好の場となる。主催者の日工会によると、会場収容能力の上限を約2割上回る出展申し込みがあり、最新鋭の機械や技術が所狭しと並ぶ光景が今回も見られそうだ。

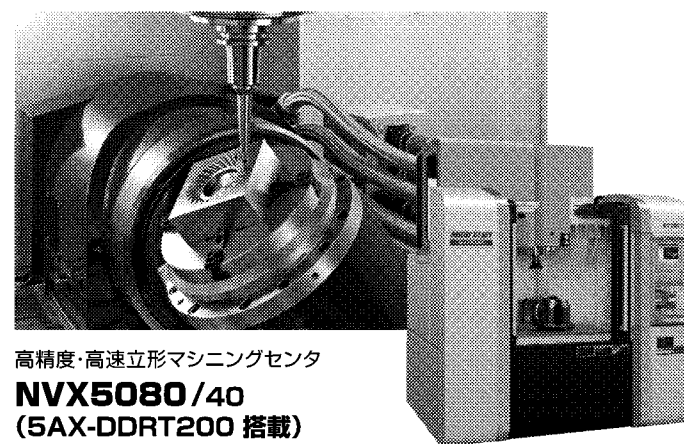
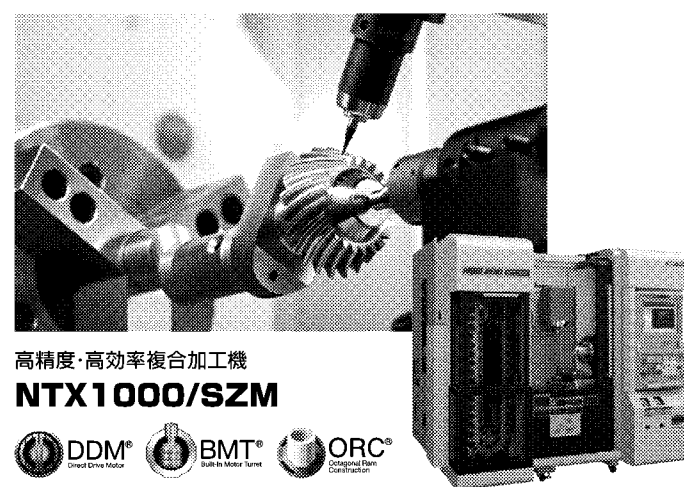
未来を切り拓く、 金型加工の革新的技術を結集

5軸制御立形マシニングセンタ
DMU 50

超高速加工5軸制御高精度立形マシニングセンタ
HSC 55 linear

3D精密レーザー加工機
LASERTEC 40 Shape

次世代を支えるプレミアムマシン



JAPAN INTERNATIONAL DIE & MOLD MANUFACTURING TECHNOLOGY EXHIBITION
INTERMOLD 2012
第23回金型加工技術展

Booth No. **6A-802**

セミナー開催
入場無料

「金型加工における加工技術の融合」
講師: エンジニアリング本部 DMG製品加工技術部
ゼネラルマネージャー 加治 敏
日時: 4月21日(土) 13:30 ~ 14:15

●セミナー内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。
当日、席に限りがございますので予めご了承ください。

DDM: Direct Drive Motor BMT: Built-in Motor Turret ORC: Octagonal Ram Construction

株式会社 森精機製作所

■名古屋本社 名古屋市中村区名駅2丁目35-16 (〒450-0002)
TEL. (052) 587-1811 FAX. (052) 587-1818

■東京支社 東京都港区港南2丁目15-1 品川インターシティA棟18階 (〒108-6018)
TEL. (03) 5460-3570 FAX. (03) 5460-9610

株式会社 森精機セールスアンドサービス

名古屋市中村区名駅2丁目35-16 (〒450-0002)
TEL. (052) 587-1862 FAX. (052) 587-1864

修理やパーツのご依頼・技術相談に関するお問い合わせは…
サービスセンター

TEL 0120-124-280 24時間
TEL 0077-78-0222 365日
通話無料